

きらやかな瞳



全校生徒数

1年108名

2年124名

3年108名

合計340名

可能性

校長 石川 聖徳

令和四年 新しい力を引き出す教育



三学期



一週目の様子



「絶対大丈夫！」（高津監督・ヤクルトスワローズ）
 「パワフル大作戦！」（原監督・青山学院大学）
 日本一になった両監督の言葉です。その輝かしい日までの想像を超える緻密な準備、選手・スタッフの一体感、チームとして心を燃やし、可能性を引き出した証の言葉です。
 「エデュース」・・・（潜在能力を）引き出す。
 教育（エデュケーション）とは、子供のよさを認め、気づかせ、可能性（潜在能力）を引き出し、育てることだと考えています。未来を創る霞東中生たちは、無限の可能性を秘めています。学校を中心に、保護者・地域の皆様と共に、子供たちの新しい力を引き出す言葉を工夫した教育に努めます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

三学期始業式式辞（一部抜粋）

▼（前略）「春は、あけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲の、細くたなびきたる。」知っていますか？・・・春はなんといつてもほのぼのと夜が明ける時・・・冬は？何でしょうか。
 ▼「つとめて」・・・早朝のことです。冬は早朝がよい・・・朝の時間を大切にできましたか。三年生は受験勉強を朝型に、一・二年生は、早朝から部活動に励みましたか。私は、今年、朝四時に起きて読書を一時間し、夜明けの景色と早朝を楽しんでいます。けっっこういいよ！・・・三学期、冬から春へ季節の趣と風情を味わう時間を大切に過ごしていきましょう。
 ▼「今年の干支」・・・「壬寅（みずのえとら）」・・・六十年に一度の特別な年で、「新しく立ち上がること」「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさを表しているそうです。
 ▼「虎穴に入らずんば虎子を得ず」
 ・・・・ここぞという時には思い切って挑戦し、冒険をする勇気が必要なのかもしれません・・・三年生は受験、二年生は修学旅行、一年生は四月から先輩になる準備・・・お互いに「お世話になりました。ありがとうございます。」と感謝の心を持ち、それを言葉で伝え合い・・・「新しいことに寅（トライ）」し、「えガオオオオオ」（笑顔）あふれる一年」となるように、勇往邁進ではりきっていきましょう。



いのちの誕生

▼二学期より産休中のK教諭が令和三年十二月十日（金）午後、無事男の子を出産しました。

産まれて一時間後には、パッチリ目をあけて、写真をパシャリとのことです。おめでとうございます。



▼「学校で三年生を中心にたくさんさんの霞東中生が、お腹の赤ちゃんにたくさん声をかけ、お腹をさわったり、荷物を持つてくれたり、気遣ってくれたやさしさが本当にうれしかったです。おかげさまで、元気な赤ちゃんを産むことができました。本当にありがとうございます。」▼出産二時間後に電話で話してくれた内容です。みなさんには、迷惑をかけてしまつてすみませんとも言っていました。私は「本物」のいのちの授業をしてくれてありがとうございますと話しました。▼埼玉の詩人、宮澤章二さんの「心」は見えないけど、「心づかい」は見える。「思い」は見えないけど「思いやり」は誰にでも見える。▼私は、このような行為を実践できる、心豊かで思いやりのある我が霞東中生を誇りに思います。

一年生がん教育

▼十一月十八日（木）講師にNPO法人くまがやピンクリボンの会のK様・K様・O様をお迎えし、サバイバー（がんを体験した人）とその家族による体験談を話していただきました。▼多くの一年生が目頭を熱くし、聴き入っていました。参加いただいた保護者の皆様もありがありがとうございます。



二年生

ミュージアム×スクール

▼十二月十四日（火）M教諭の美術に、彫刻家S様をお迎えし、本物に触れ、見て、感じる授業を行い、二年生のきらやかな瞳があふれました。素敵な時間がありました。ありがとうございます。



保護者の皆様へ

後期学校評価にご協力ありがとうございました。教職員で分析・改善策を検討後、お知らせいたします。

第二回学校評議員会

▼十二月六日（月）学校評議員I様・G様・Y様・U様・S様全員にお集まりいただきました。霞東中生の様子を参観し、県学力学習状況調査や生活アンケート、前期学校評価などを含め、よりよい学校づくりのための指導・助言をいただきました。お忙しい中、いつもありがとうございます。

【指導・助言いただいた主な内容】

- ・「学校が楽しい」→そうでない少数に目を向ける。
- ・学習が苦手な子への個別支援を充実させる。
- ・学校評価は、移行期としてネットと紙を併用する。

